

「Life!」シリーズ開発者インタビュー

ー開発のきっかけを教えてください。

林業では“たんころ”※ など、木材市場に出荷できない部分がどうしても出てきます。1本まるごと、木を1本余すことなく活用することを実現しようとしたとき、それを例えばチップにしてバイオマスの原料としてただ燃やしてしまうよりは、伐採するときを感じる木の匂いや森の気持ちの良さを伝えられる、生活に身近なアイテムに変えた方が、より良い活用の仕方だと思いました。

※長さが短い丸太。既定の長さに切るとき、曲がりなどを理由に切り落とされた部分

ーなぜ1本まるごと使い切りたいのですか？

以前、自分も現場をやっていたので植え付けの大変さ、下刈りの大変さはよく分かっています。せっかく50年60年70年育った木ですから、山に返すのも一つの手ですが、使えるものはなるべく有効に使いたい。

ひと手間加えることで、たくさんの人が日常の中で気軽に使えるアイテムになったら山も人もハッピーになると思っています。

ー全部、東京チェーンソーズが扱ったものですか？

そうですね、全部、弊社で扱った山から出したものです。

最初は私が山で“たんころ”を拾って軽トラに載せて製造協力会社へ運んで作ってもらいました。

ー「Life!」シリーズには、どんな意味を込めているんですか？

生命力。生き物である木の命をいただいてできた商品という意味です。

ー生命力なんですね。

木もそうですし、森にはいろいろな生き物、たくさんの命があります。私自身、山仕事をすることで、移動中や休憩中、木々に囲まれてふっと気持ちが緩むようなときがあるのですが、その自分が生きているなあ実感する感覚を「Life!」シリーズのコンセプトにしました。

このオイルポットは、枝の太い部分を使っています。これは切ったあとも呼吸をしているんですよ。

—使う人にどういふことを感じてほしいですか？

嗅覚はとても脳に響くものです。嗅覚を通じて、木々の生命力、山の息吹を感じてもらえたらと思います。これらのアイテムが生まれた背景として、東京の4割は森林でできていること、それらの森が水や空気につながっていること、まだまだ活かしきれていないことなど、「Life!」シリーズをきっかけに、東京の森に関心をもってもらえたら嬉しいです。オイルポットは凹みの深さや磨きにこだわっているので、枝ならではの木目の美しさやつるつるの手触りも楽しんでもらいたいです。

—どんな場面に使うといいでしょう？

リラックスタイムに、小さな子からお年寄りまでどんな方にも使ってもらったらと思います。

日々使うものなので、プレゼントにも喜ばれると思います。

—嗅覚、手触りを通じて、山に思いを馳せる…

身近な生活で「Life!」を楽しんでもらい、お休みのときには東京の山や森に遊びに来てもらえたら、とても嬉しいです。

Life! / pure hinoki oil (ヒノキのエッセンシャルオイル) は[こちら](#)

Life! / pure hinoki mist (ヒノキのアロマミスト) は[こちら](#)

Life! / pure hinoki pot (ヒノキのオイルポット) は[こちら](#)